

事業所名 独立行政法人国立病院機構 兵庫あおの病院 支援プログラム（放課後等デイサービス） 作成日 2025 年 1 月 23 日

法人（事業所）理念		重症心身障害児（者）医療と一般医療の機能を併せ持った医療施設としての専門知識・技術の蓄積を地域への福祉増進に役立てるため努力していきます								
支援方針		利用者の発達に応じて日常生活動作指導を行います 集団活動を通して利用者の社会性・自立心の発達を促します 利用者・ご家族同士の交流を深めるための行事を実施します								
営業時間		平日 休業日	1 5 時 9 時	3 0 分 3 0 分	から から	1 6 時 1 6 時	4 5 分 3 0 分	まで まで	送迎の実施	なし
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	健康状態を維持できるよう心身の状態を確認し、体調の変化に早期対応できるよう細やかな観察を行います 必要な医療的ケアが適切に実施できるよう環境を整えます 生活のリズムや生活習慣の形成、基本的生活スキルの獲得ができるよう、一人一人の身体状況や発達段階に応じて、食事や排泄、入浴などの支援を行います 自分の行動や感情の調整、他者への働きかけにより、自分自身が生活しやすい環境にしていくための支援を行います								
	運動・感覚	療育活動等を通して姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作、筋力の維持・強化を図ります 一人一人の状況に応じて、姿勢保持や運動、移動能力向上のための補助用具等が活用できるよう支援します 視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を活用できるよう、療育活動等を通して支援します 感覚を補うため、必要に応じて眼鏡や補聴器等が活用できるよう支援します								
	認知・行動	絵本や制作を通して季節を感じられるよう支援します あそびを通して、色や形、重さ、柔らかさなどの感覚を養います 色や形、音の変化など、周囲の環境を把握し、適切な行動につなげられるよう支援します								
	言語 コミュニケーション	自分の思いが伝わる経験ができるような支援、自分から伝えたい、発信したいと思えるような信頼関係の構築に努めます コミュニケーションを通して、相手の意図を理解したり、自分の思いを表出できるよう支援します 一人一人の障害特性に応じ、ジェスチャー、指差し、絵カード、文字盤などの言葉以外でのコミュニケーション手段が獲得できるよう支援します								
	人間関係 社会性	職員との関わりの中で人との関係を意識し、信頼感、安心感のある関係性が構築できるよう努めます 職員や他利用者との関わりの中で対人関係の構築ができるよう支援します 他利用者との活動や行事参加を通して、ルールや順番を守るなどの社会性の発達を支援します 自分や相手の気持ち、周囲の状況を理解し、気持ちのコントロールができるよう支援します								
家族支援		福祉制度や医療的ケア、子育て等に関する相談援助を行います 利用中の本人の様子を伝え、家庭と連携した発達支援に努めます 家族同士が交流できる機会を提供します					移行支援		家族への情報提供や、進路・移行先の選択についての相談援助を行います 移行先との情報共有や、受け入れに必要な手技の伝達等を行います	
地域支援・地域連携		相談支援事業所、他の通所事業所、学校など関係機関との情報共有を行います					職員の質の向上		新採用者、異動者への研修実施 法定研修の実施（虐待防止、身体拘束、感染防止、メンタルヘルス、ハラスメント、個人情報保護等） 各種研究発表や外部研修への参加	
主な行事等		七夕、クリスマス、成人式、節分、ひな祭り、お誕生日会、季節の療育								